

平成22年度 第45回東北・北海道地区
インテリア科教育研究大会

山形県立新庄神室産業高等学校
事務局 阿部 稔

1 はじめに

本研究大会は、東北・北海道地区のインテリア科及びこれに準ずる学科の関係者が一堂に会し、インテリア教育の果たす役割と、これに携わる者としての専門性向上について研究し、今後のインテリア教育の充実・発展を図ることを目的としている。

2 大会概要

1) 大会期日及び会場

平成22年7月26日(月)から27日(火)

第1日目 最上広域交流センター「ゆめりあ」

第2日目 山形県立新庄神室産業高等学校

2) 参加者

青森工業高等学校・弘前工業高等学校(青森県)、能代工業高等学校・秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院(秋田県)、水沢工業高等学校(岩手県)、宮城県工業高等学校(宮城県)、新庄神室産業高等学校(山形県)、講演会講師、賛助会員(秋山木工)、全国インテリア科教育研究会顧問

3) 第1日目

a 開会行事

b 総会

- ・平成21年度事業報告及び会計決算報告
- ・平成22年度東イ研役員案
- ・平成22年度事業計画及び予算案、等

c 研究協議

「各校の実習・課題研究の取り組みについて」

「各校の進路状況・資格取得状況・特色ある取り組み」について、各校の発表及び質疑応答。

実習・課題研究では、インテリアの専門分野である「木材加工」や「家具製作」・「CADによる室内設計」・「室内パース」等の基礎・基本の習得に重点が置かれているようであった。

また、地域連携の取り組みも活発に取り組みれていた。例えば、地元温泉街の再生計画や特別支援学校の教材づくり(木材加工品)、外部講師を招聘しての地元特産品の商品企画とデザインなど、学校や地域の特色を活かした取り組みの発表があった。

4) 第2日目

a 見学

- ・本校建築デザイン科実習施設と実習作品
(CAD室、デザイン室、製図室、造形実習室、計画実習室、環境測定実習室)
- ・植物工場と雪室(農工融合施設)
- ・農業科実習施設(無菌室、食品製造室、等)



b 講演会

- ・講師「東北芸術工科大学建築環境デザイン科学科長 竹内 昌義 教授」
- ・演題「地域の特性を活かす活動」
～蔵プロジェクト、ミサワクラス、エコハウスをとおして～
- ・内容 山形市に残る「蔵」を再生した商業空間のイベントや「旅館」をアパートにリニューアルしたプロジェクトの紹介。また、サステイナブル(持続可能性)やカーボンニュートラル(二酸化炭素排出ゼロ)を目指した住宅の実践。

c 閉会行事

3 おわりに

東北各県では、学校統合や学科改編が急速に進んでおり、この流れの中でインテリアに関する学科も廃科の対象となる傾向にある。しかし、私達の生活を豊かで快適に過ごす役割を担う人材育成のために、インテリア教育を充実させ、この小規模な研究会の存在感を更に高めて行かなければならないと考える。